

花いっぱいの中庭の下 春のぬくもり感じたお花見

心のひろば



▲のんびりと思い思いに過ごしました

4月6日に、岡山ひだまりの里病院デイケアでは、病院中庭でのお花見を開催しました。毎年、お花見の日程を考える際に事前に桜が咲く予報を見るのですが、当日に花が咲いているか、散っているかと、とても迷います。今年はお天気にも恵まれたいい気候となりました。

当日は、少人数ずつで利用者さんに中庭に出てもらいました。桜と花桃が「パツ」と見えると、「わー、きれいいやなあ」と、思わず声が上がっていました。

第506号 二〇二六年五月一日
発行 岡山市中区浜四七二
〒703-8520
電話 〇八六二二二一八八一(代)
〇八六二二二二一九五七(代)
発行責任者 石田正也
紙代一部50円(郵送料15円)

林友の会



▲春を感じるお茶とお菓子

長いすに座り、利用者さん同士でおしゃべりをしながら、おいしいお茶、おまんじゅうを食べてゆつくりと過ごしました。みなさん、「やっぱり桜は良いね!」「今日、花が見られて良かった」「携帯電話を持ってくればよかった」など、口々に感想を言われていました。

花いっぱいの中庭でのんびり過ごし、今の時期しか見られない景色を見て春を感じてもらえて良かったと思います。

(岡山ひだまりの里病院
デイケア 橋本和栄)



▲花が満開の中庭

記念講演は、講師の小椋芳子さんにご自分のこれまでの人生の経験から、心と体の健康についてお話していただきます。毎日を元気に生きるヒントがもらえます。みなさん、ぜひお越しください。

記念講演「生き生き健康で長生き」
講師：小椋芳子さん(保健師)

日時：5月23日(土) 13時半～16時半
場所：林病院内ひまわりホール

林友の会2026年度定期総会

家族交流会 あじさいの会

心の病気をもつ方のご家族の集まりです。病気や生活、将来のことなど話をしています。どなたでもお気軽にご参加ください。

日時：5月14日(木) 14時半～16時半
場所：林友の会事務所
参加費：100円(お茶菓子代)

当事者交流会 ゆとりの会

病気や人間関係、将来のことなど、当事者同士で交流しています。事前の申込等は必要ありません。お気軽にご参加ください。

日時：5月20日(水) 15時～16時半
場所：林友の会事務所
参加費：100円(お茶菓子代)

カフェこおり銀座

参加者が「ほっとできる」ことを大切にしたいカフェです。事前にご連絡いただければ詳しい場所をお知らせします。

日時：5月25日(月) 14時～
場所：岡山市南区郡
参加費：100円(コーヒー代)



▼この間、物価高騰や人件費の上昇などの影響を受け、全国的に病院経営が厳しく、病院団体を中心に診療報酬の引き上げを求める緊急要望に取り組んできた。その結果、令和8年度の診療報酬改定では3.09%の引き上げが実現したが、ケアワーカーの賃金が高騰した状況は継続している。▼令和8年度診療報酬改定は、精神医療がこれまで以上に「地域で支える医療」へと軸足を移していく流れが示された。入院中心から外来・在宅支援への移行、多職種連携の強化、そして患者の生活を重視した支援体制の充実が求められている。医療機関だけでなく、福祉や地域資源とつながりながら、その人らしい暮らしを支える視点が重要になっている。▼患者の立場から見れば、これは「病院の中で治す医療」から「日常の中で回復していく医療」への変化ともいえる。住み慣れた地域で安心して過ごしながら、必要に応じて適切な支援を受けられることは大きな安心につながる。医療者には治療だけでなく、患者の声に耳を傾け、生活全体を見据えた関わりが求められる。▼今回の改定は、精神医療が「治す」だけでなく「ともに生きる」医療へと進んでいく一歩となった。患者さん一人ひとりの歩みに寄り添いながら、地域の中で支え合う仕組みを育てていくことが、これからの精神医療の姿といえるだろう。

(S・K)

こだま

岡山市に憲法9条の碑 平和を願いお披露目

3月20日、全国で78番目の憲法9条の碑が岡山市にお目見えしました。場所は岡山駅西口デッキから見



▲完成した碑は岡山医療生協発祥の碑の隣に

えるにじいる薬局駅前店(旧岡山医療生協駅元診療所)前です。除幕式のあと、国際交流センターでお披露目の会がおこなわれました。地元中学生の合唱にはじまり、碑のデザインをした山内若菜さんのミニトークと全国9条の会世話人の伊藤千尋さんの講演と豪華な顔ぶれに会場は立ち見もでるほどの大盛況ぶりでした。

さと弱きものへの愛が溢れていました。また、伊藤さんは、戦後81年間日本が戦争に巻き込まれず、過去の世界的な戦争危機が回避できた歴史には憲法9条の存在があり、役立ってきたことを熱く語られました。



▲九条の碑「猫と赤ちゃん」の除幕式

(林財団 岩崎ゆう子)

顔合わせ笑顔で交流 話弾む楽しいひととき

春の交流会開催

前日の雨が嘘のようなお天気に恵まれた4月11日、後楽園内鶴鳴館本館において春の交流会を開催しまし



▲話す声や笑う声があちこちから聞かれたゲーム企画

た。この交流会は、コロナ禍前に恒例であった旭川河川敷での花見交流会に代わり、感染対策に留意しながら会員が集い交流出来る場

として2024年より始めたものです。3回目となる今年前半は、赤澤幹事のご紹介で岡山医療生協高島支部で作られた紙芝居「金平様のものがたり」を今脇啓子さんに語っていただききました。自然豊かな憩いの場になっている百間川せせらぎ広場を地域の桜の名所にするため尽力された湯浅金平さんのお話です。後半は、4月に入職した新入職員の自己紹介の後、約40名の参加者がチームに分かれての交流タイム。テーブルごとに全員の共通点を見つけるゲームで、好き

なものや得意なことなど出し合うなかで会話も弾み盛り上がりしました。

参加されたみなさんからは、「和気藹々とした雰囲気の中で楽しい会だった」「心のひろばの紙面で知る会員さんと交流でき楽しかった、来年も参加したい」といった声が寄せられました。今年も参加申込が多く、全員の方に参加していただくことが出来ませんでした。来年はもっと多くの方のみなさんに楽しいひと時を過ごしていただくことが出来るように企画したいと思えます。

鬼に笑われそうですが、来春の交流会も楽しみにお待ちしております。

(事務局 中本満理子)

集団的自衛権の行使に反対する中区の会 第124回行動 スタンディング

スタンディングでのアピールです。どなたでもお気軽にご参加ください。

日時：5月26日(火) 17時半～18時
場所：中区役所前

栄養科からおとどけ！

食の豆知識



5月は新緑が美しく、気持ちのいい季節です。新年度がスタートし、緊張もほぐれて、ほっとすると同時に季節の変わり目で疲れが

出やすい時期です。「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムを整え、栄養バランスの整った食事、十分な休養をしっかりと体調を整えましょう。さて、今回は体調管理に欠かせない睡眠に役立つ栄養についてご紹介します。睡眠に役立つ栄養は主に3つあり、トリプトファン・グリシン・GABA(ギャバ)です。トリプトファンは体内でセロトニンに変化し、夜になると自然な眠りに促してくれる「メロトニン」に交換されます。牛乳、ヨーグルトなどの乳製品、豆腐や納豆などの大豆製品、魚や肉、ナッツやバナナなどにも含まれます。ナナなどにも含まれます。炭水化物と一緒に食べることでより脳内に届きやすくなる言われています。グリシンは深部体温を下げる効果があり、寝つきを助けてくれます。主にえびやかに、ほたてなどに含まれます。最後に、GABAは副交感神経を優位にし、寝付きを助けてくれます。主に納豆やヨーグルトなどの発酵食品に含まれています。今回、ご紹介した食品をとり入れたバランスの良い食生活と良い睡眠をしっかりと、来る暑い夏に向けて体調を整えましょう。(管理栄養士 渡辺愛)

幹事会報告

★第6回幹事会(4月13日)
1. 後楽園で開催した春の交流会について報告がありました。

2. 定期総会議案について提案があり、論議しました。出された意見等を受けて加筆・修正をおこなうことを確認しました。

3. 次年度の活動について提案があり意見交換をおこないました。9月に開催される全日本民医連共同組織活動交流集会への参加について案内がありました。

林友の会
公式LINE



つばさ薬局

笑顔を大切にする薬局です

どこの病院の処方箋も受付致します

【営業時間】

月水木金 9:00～17:30
火曜 9:00～17:00
土曜 9:00～13:00
日・祝日 休み

【電話】

086-272-2710

【処方箋受付FAX】

086-272-2713

〒703-8256 岡山市中区浜621-1

つばさ薬局

検索

2026年度定期総会議案

2025年度活動のまとめ

はじめに

林友の会では、こころの健康問題について会員や地域のニーズを知り、それに応える活動や運動に取り組んできました。安心して住み続けられるまちづくりに向けて、職員や当事者・ご家族と共に、毎月1回のゆとりの会(当事者会)、あじさいの会(家族会)、こおり銀座力フエを開催してきました。地域の方に向けた市民公開講座や、会員同士のつながりを深める交流会を開催しました。併せて、だれもが気軽に参加できる活動として共同組織拡大強化月間中のヘルスチャレンジを企画しました。また、市民組織として幅広い会員の要望を運動へと発展させるために、組織の拡大と活動の強化をめざしてきました。

1. 心の健康を守り会員の交流を深める活動

機関紙「心のひろば」発行
毎月発行している機関紙「心のひろば」は、紙面を通して林友の会や財団事業所の活動をお知らせし、会員と林友の会や林財団をつなぐ役割を果たしています。幹事や林財団の職員も執筆をおこない、紙面づくりに参加してきました。また、事務局には掲載した記事への感想や誌面への掲載の要望なども多数寄せられ、読者の声のコーナーでは、会員同士の紙面での交流もみられました。

相談活動の充実

会員やそのご家族から、悩みや不安を、困りごとなどが電話や来所で寄せられました。相談しやすい環境づくりと相談者の気持ちや要望に寄り添えるような対応をめざし、生活相談や法律相談など相談の内容によ

幅広い会員の参加をめざした活動

だれもが参加できるとりくみとして、秋の共同組織拡大強化月間にヘルスチャレンジを企画しました。会員とそのご家族161人が目標を達成され、「チャレンジすること健康を意識できた」「チャレンジ期間が終わっても続けていきたい」などの感想が寄せられ、健康づくりにつながるとりくみとなりました。また、4月には後楽園内の鶴鳴館で交流会を開催しました。会員同士が交流する機会となり、参加者からは「他の会員さんと話ができて楽しかった」と歓迎の声が寄せられました。5月の定期総会では、安徳剛さんをお迎えして「笑いヨガと落語」を記念行事としておこないました。笑いヨガと深呼吸、手拍子を組み合わせた笑いヨガと囁の落ちに笑い声があふれる楽しい時間となりました。

地域に向けた活動

市民公開講座を9月、2月の2回開催しました。9月はトイピアノ奏者の畑奉枝さんをお迎えして「トイピアノ&トークコンサート」をおこないました。第1部ではトイピアノで様々な曲を演奏していただき独特の幻想的な音色を楽しみました。第2部では畑さんと画家の半田正子さんのトークをおこない、おふたりの出会いや活動、そして畑さんのお兄さんと半田さんの交流などのお話しをお聞きしました。2月は「依存症」について林病院の北山幸雄

医師に講演していただきました。アルコールやギャンブル、SNSなど、様々な依存症のメカニズムと症状や治療についてお話しいただき、参加者からは「とてもわかりやすい話でした」「他の疾患の話も聞いてみたい」との感想が寄せられました。北山医師への質疑では、参加された方からご自分や家族について日常生活の中で気になることなどの質問が出され、講座終了後には、林病院の専門職による個別相談対応もおこないました。10月にはドキュメンタリー映画「生きて、生きて、生きて。」の上映会を開催しました。東日本大震災と原発事故の喪失感や絶望のなかでこころの病を抱えて生きる人々と、その人たちに寄り添い共に生きる医療従事者の日常を追った映画で、10年以上経過しても震災の影響が大きく残る福島の今を知る機会となりました。

2. 林財団事業所の充実・発展のために協力・共同する活動

利用者の声を事業所運営に反映
林病院の患者中心の病院づくり委員会に当事者や家族の会員が外部委員として参加しました。月に2回、職員と共に院内のラウンドをおこない、施設や療養の環境などについて気付いたことや改善が必要ななどを指摘しています。また、委員会に参加し、投書箱に寄せられた投書への回答について、意見や感想、病院への

要望や改善にむけた提案などをおこないました。院内の売店Yショップでの買い物の代行の試行など、投書での要望を受けてのとりくみもおこなってきました。

事業所と共同した活動

各事業所の共同組織委員会で、毎月、活動の進め方や会員拡大に向けて話し合いをおこない、行事への参加のよびかけも進めてきました。秋の共同組織拡大強化月間には各事業所で目標掲げて取り組み、その進捗状況の共有や入会の呼びかけをおこない、職場や研修の場で職員に向けた学習会も開催しました。

林財団との定期協議会

林財団との定期協議会を開催し、双方の日常活動の報告や活動への協力について話をおこないました。併せて、事業所を利用する会員から寄せられた意見や要望などについて意見交換をおこないました。

3. 憲法・平和、社会保障

充実で安心して住み続けられるまちづくりの活動
平和のとりくみ

林財団・林精研労組と共に集団的自衛権の行使に反対する中区の会のアピール行動に参加しました。「原水爆禁止国民平和大行進」「原水爆禁止世界大会」などへの参加のよびかけとして、ボールペンやペナントなど資材の購入をおこないアピールしました。また、岡山市に憲法9条の碑をつ

くるとりくみでは、「憲法9条の碑をつくる岡山の会」の活動を心のひろばで紹介し募金への協力をよびかけました。障害連、きょうされん、障害者、患者・家族9条の会とつくる「障害者」と平和・人権を考える「会」に参加し講演会を開催しました。講演会では、広島県被団協の佐久間邦彦さんを講師に「被爆者運動のこれまでと、今私たちが9条を守り生かすためにできること」と題したお話しをしていただき80人余りの参加がありました。被爆80年の節目の年であることや、前年に日本被団協がノーベル平和賞を受賞したなかで、平和への関心の高さを実感した講演会となりました。

社会保障の充実

生活保護引き下げ違憲訴訟(いのちのとりで裁判)や「黒い雨」岡山訴訟への支援として、裁判の傍聴や報告集会等への参加に取り組み、心のひろば紙面での紹介もおこなってきました。生活保護引き下げ違憲訴訟では、6月に最高裁で生活保護基準引き下げを理由とした保護変更決定処分は違法であるとした画期的な判決が出されました。3月、広島高裁岡山支部では一審の判決を不服として岡山市などが控訴していた控訴審に減額処分を取り消しを求める判決が出され控訴が棄却されました。

精神障害者や認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、地域の支援体制の法制化や良質な精神医療を提供できる人員配置の実現をめざして「精神保健医療福祉の改善を求める国会請願署名」に林財団・林精研労組と共に取り組みました。2026年3月時点で504筆の集約となっています。心のひろばでよびかけた署名には多くの会員からの協力と温かい励ましの言葉が寄せられました。

障害福祉分野の活動

2025年4月より精神障害者が県の心身障害者医療費公費負担制度の対象に加えられました。倉敷では開始時期が7月となりましたが、待ち望んだ全県での制度実施となりました。現在、65歳以降に障害者手帳を取得した場合はこの制度の対象外となります。年齢の制限なく制度の対象とすることを要望した障害連の県との懇談に参加し、手帳取得時の年齢に関わらず制度の対象とすることを求めました。

認知症分野の活動

岡山ひだまりの里病院や地域の方と共に開催している「こおり銀座カフェ」を、毎月1回開催してきました。カフェでは、多職種の職員や地域の支援者などを講師に認知症に関わるミニ講座を開催しました。併せて、民医連や林友の会の活動の紹介もおこない、入会やヘルスチャレンジの参加につながりました。10月にはみ

やま公園へのおでかけ企画もおこない、「みんなと来てよかった」「また来たい」との感想が出されました。参加者同士が声をかけて誘い合うなど、ほっとできる居場所として定着しています。また、不定期での開催となりますが、岡山ひだまりの里病院にも協力してもらい、11月から認知症のご家族を介護されている方を対象とした家族交流会「しゃべり場」をひだまりの里病院内で始めました。

4. 組織の拡大と強化をめざす活動

会員拡大

年間を通じての入会は44人、退会は106人で、会員数は3月末時点で3313人となっています。死亡

2026年度活動方針（案）

はじめに

林友の会は、民医連加盟事業所の共同組織として林財団のあらゆる活動のパートナーとなり、安心して住み続けられるまちづくりに向けたとりくみや活動を、職員や地域の人々と共に進めます。こころの健康問題について、会員や地域のニーズを知り、それに応える活動や運動に取り組みます。また、市民組織として幅広い会員の要望を具体化し運動へと発展させるために、組織の拡大と活動の強化をめざします。

1. 心の健康を守る・会員の交流を深める活動

機関紙「心のひろば」発行

機関紙「心のひろば」の紙面の充実をめざします。幹事や林財団職員など、紙面づくりの協力者を増やします。林友の会や林財団の活動を掲載し、会員と林友の会や林財団をつなぐ役割を果たします。

や高齢、退院、職員の退職などの理由による自然退会があり、それを上回る拡大となりませんでした。会員への情報発信として林友の会の公式LINEを開始しました。行事のご案内や活動の紹介などを配信していきます。

共同組織拡大強化月間
10月から12月の拡大強化月間に、①運動を大きく広げる、②当事者・家族を孤立させない、③林財団と事業所のサポーターを増やすことを目標としてとりくみを進めました。また、各事業所と協力し患者さんやご家族に林友の会への入会と財団の医療活動を支える協同基金へのご協力をよびかけました。月間の目標と到

共同組織拡大強化月間

10月から12月の拡大強化月間に、①運動を大きく広げる、②当事者・家族を孤立させない、③林財団と事業所のサポーターを増やすことを目標としてとりくみを進めました。また、各事業所と協力し患者さんやご家族に林友の会への入会と財団の医療活動を支える協同基金へのご協力をよびかけました。月間の目標と到

達は以下の通りです。

- ・会員拡大10人目標で、3人の到達
- ・協同基金協力50人目標で、40人の到達

組織の強化

幹事会や常任幹事会のなかで、情勢や制度についての情報提供や意見交換をおこない共有してきました。財団の制度研修や学習会などで職員に林友の会の歴史やとりくみを知らせ、活動への参加を通じてその理解を深めてきました。また、死亡や転居などにより連絡がとれなくなった会員が一定数発生していることから、現状の把握と会員名簿の整備に向けて、常任幹事会で議論をおこなってきました。

当事者・家族会活動

毎月開催するゆとりの会、あじさいの会の交流の場としての充実をめざします。

かかられている医療機関やお住まいの地域にかかわらず参加していただける会としてお知らせし、広く参加をよびかけます。また、お互いが相談し合える場として、同じ立場の参加者同士の関係づくりを進めます。

相談活動の充実

会員やその家族が悩みや困りごとなどを相談しやすい環境づくりと相談機能の充実をめざします。また、相談内容への対応をおこなう窓口や関係機関などを把握し、相談者をおつなぎします。

幅広い会員の参加をめざした活動

会員同士や会員と職員の交流を深めることをめざし、バス旅行や交流会などを開催します。また、健康づくりにつながるとりくみとしてヘルスチャレンジを企画し、幅広い会員の参加をよびかけます。

地域に向けた活動

地域で活動している団体とも連携しながら、地域住民や幅広い会員に向けて映画上映会などの開催を検討します。市民公開講座を事業所の医療活動を知らせる機会と位置付け、各事業所と協力して会員や地域に向けた市民公開講座を開催します。

2. 林財団事業所の充実・発展のための協力・共同

利用者の声を事業所運営に反映

林病院では、患者中心の病院づくり委員会のメンバーとして、院内のラウンドや委員会への参加を通じて当事者・家族の声を反映した事業所運営や、問題解決の一端を担う役割を果たします。

事業所と共同した活動

各事業所の共同組織委員会と協力して、活動についての協議と職員の参加を広げます。共同組織拡大強化月間のとりくみをはじめ、市民公開講座などのとりくみを共同して進めます。

林財団との定期協議会

林財団との定期協議会を

開催します。双方の日常の活動についての共有や、林友の会に寄せられた意見や要望等を事業所運営に反映させることを求める働きかけや、共同したとりくみについての話し合いなどをおこないます。

3. 憲法・平和、社会保障

充実で安心して住み続けられるまちづくりの活動

平和のとりくみ
林財団などと共に、戦争する国づくりに反対し、核兵器廃絶にむけた運動に取り組み、原水爆禁止国民平和大行進、原水爆禁止世界大会などのとりくみを多くの会員に知らせます。武力攻撃に反対し、戦争の惨禍を繰り返さないために様々な立場の人と連帯し平和を守り活かす運動にとりくみます。「平和憲法を守るための緊急アクション」や「集団的自衛権の行使に反対する中区の会」のアピール行動への参加を広く呼びかけます。

社会保障の充実

生活保護引き下げ違憲訴訟（いのちのとりで裁判）や「黒い雨」岡山訴訟などの闘いを支える運動に取り組み、心のひろば紙面などで広く会員に知らせます。また、県・市社会保障推進協議会などと連携して、その活動に参加します。

地域生活を支える精神科医療・福祉の充実

だれもが安心して暮らせるまちづくりをめざして、

地域の支援体制の充実など他団体とも連携した運動をおこないます。財団・労組と共に、「精神保健医療福祉の改善を求める国会請願署名」にとりくみ、広く市民に精神医療の現状を知らせ、精神医療や制度の充実に向けた運動の前進をめざします。

障害福祉分野の活動

県の障害者医療費公費負担制度の拡充を求めます。制度利用者や当事者の声を聞きながら、手帳の1級所持者のみとなっている対象者の拡大などの制度の充実をめざします。他の自治体の運動やとりくみについて学び、広範な団体と協力して県への働きかけなどに取り組みます。

認知症分野の活動

認知症当事者や家族の生活を支えるとりくみや、認知症をめぐる様々な課題に、関連する団体や地域と連携した運動を進めます。だれもが安心して過ごせる居場所として、月に1回の「こおり銀座カフェ」を開催します。また、岡山ひだまりの里病院内で始めた「しゃべり場」もご自分や家族のことを話せるほっとできる場として周知し継続していきます。

4. 組織の拡大と強化をめざす活動

会員拡大

年間を通じて会員の拡大に取り組みます。公開講座をはじめとする行事の開催にあたり、様々な広報手段

を利用し会員以外にも案内と参加を広げ、林友の会の活動やとりくみを知らせると共に入会をよびかけます。また、林病院やひだまりの里病院と共に患者さんやご家族に林友の会への入会と財団の医療活動を支える協同基金へのご協力をよびかけます。様々な人に知っていただく方法として、公式LINEやホームページでの情報発信をおこないます。

共同組織拡大強化月間

10月から12月を共同組織拡大強化月間と位置づけ、林財団各事業所の共同組織委員会と協力して積極的によびかけをおこない、会員拡大、協同基金協力、いつでも元気の購読者増などに取り組みます。ヘルスチャレンジをはじめ、多くの会員が参加できる講座や行事の企画をおこない、会員の拡大につなげます。

組織の強化と整備

幹事会・常任幹事会のなかで、その時々々の情勢や課題についての学習を進めます。また、職員に向けても活動の参加を通じて共同組織への理解を深める働きかけをおこないます。現状、機関紙の送付や会費の納入会員数と会員名簿上の人数に乖離があることから、会則の変更も含めた会員の位置づけと名簿の整理をおこないます。併せて、会費の納入率の引き上げに向けたとりくみを進めます。

看護師めざす学生に 精神科看護の魅力伝える

林病院

林病院看護学生委員会で、学生を対象にした様々な活動を行っています。毎年、看護学生へ向けてはインターンシップでの院内見学



▲インターンシップでの院内見学

インターンシップを、高校生へ向けては高校生一日看護師体験を、学校の春休みと夏休みに合わせて開催しています。

インターンシップでは、実際に病棟に入り、患者さんと一緒にレクリエーションに参加し交流しました。高校生一日看護師体験では看護師を目指す高校生へ病院紹介や見学、注射の吸い上げや血圧測定などの看護業務の体験を行いました。参加した学生からは、「暗く閉鎖的だと思っていた精神科のイメージが覆り、明るく温かく、安全で過ごしやすい環境を作るための多くの工夫がされていることに驚いた」「看護師が優



▲初めて扱う注射器に興味津々の高校生看護師

しくフレンドリーで働きやすそう」「私も患者さんに寄り添える看護師になりたい」と感想をいただいています。

これからも、様々な活動を通して林病院や精神科看護の魅力をたくさんの人に伝えていきたいと思っています。少しでも興味のある方は、

その人らしく生きるをサポート 日々の看護とケアの実践発表

岡山ひだまりの里病院



▲多職種が参加した発表会

岡山ひだまりの里病院看護部では、3月3日に事例発表会を開催しました。コロナ禍は、ポスター発表の形式でしたが、以後は対面での発表会を再開し3年目

の交流の場となりました。全ての事例が、当院の方針の「認知症の人がその人

らしく生きることができるよう援助します」を念頭に、「患者の立場に立つ」「患者の要求から出発する」といった視点から患者とその家族を中心とした取り組みを実践している発表でした。日々の看護やケアが日常的にそういった視点で行われていることが実感できて、とても嬉しく思いました。また、今流行りの生成AIをデーター分析等に上手に活用している事例もありました。

今後、新たなものも取り入れながら、自分達の日々の看護・ケアを見つめ直し、発信していく機会を続けていきたいと思っています。(岡山ひだまりの里病院 看護総師長 國分祐子)

発表テーマ

【2階病棟】

- ・超高齢者のADL維持について考える
～安全に白寿・百寿を迎えるために～
- ・環境の変化に弱い認知症患者への待つ看護の実践
～心を閉ざした患者が少しずつ心を開くまで～

【3階病棟】

- ・QOLの向上を目指した食事支援の実践
～最後まで口から食べることを支える～
- ・Aさんの落ち着かない時の様子を観察して
～状況と対応の結果から見えてきたもの～

【4階病棟】

- ・家族の思いと本人の反応の解離から生じた夫婦同棟入院の課題
～認知症患者における関係性の変化と看護の役割～
- ・前頭側頭型認知症患者における骨伝導を用いた音楽ケアの試み
～嗜好情報の活用が発語および情動表出に与える影響～

林病院デイケアロールアート展示会

林病院デイケアでは、これまで作成した様々なロールアート作品の展示会を開催します。心のひろばの紙面で紹介した作品から最新作まで、デイケアのメンバーさんがコツコツ作り上げた作品です。みなさん、ぜひ見にいらしてください。作成したメンバーと林病院職員が会場でお待ちしています。

日時：6月16日(火)～21日(日)10時～15時

場所：天神山文化プラザ2階 第4展示室
(岡山市北区天神町3-54)

入場料：無料

- ・会場には、林病院のアルコール依存症治療についてご紹介するコーナーもあります。

[お問い合わせ先]

林道倫精神科神経科病院：TEL086-272-8811



▲注射の吸い上げ体験

林病院看護部までお気軽にお問い合わせください。また、看護学生委員会では4月からInstagram

林病院看護学生委員会 Instagram



を始めました。タイムリーな情報はこちらから！「フォロー」と「いいね」をぜひお願いします！
(林病院 看護部 宇都宮万里)

岡山ひだまりの里病院からのお知らせ

岡山ひだまりの里病院は、この度ホームページのリニューアルをおこないました。当院が大切にしていることや、治療、ケアの内容について動画でご紹介しています。また、Instagramでは、日常の様子や職員の紹介なども発信しています。ぜひ、一度ご覧ください。

Instagram



ホームページ



声



●私の通っている作業所に精神バレーをしている人があります。近々県外で大会があるそうで意気込んでいました。また勝つためにいろんな分析をし、スポーツ心理学も学んで、私はすごく影響されました。たとえ精神の病気があろうとも目標や大好きなことに夢中になっているとこんなにもイキイキするものだと感心させられました。(N、N)

●4月に3000品目に及ぶ値上げの予定とのこと、何とかして下さい！早苗様、国民が選んだんでは。少しは選んだ国民のために仕事をして下さい。そして、何ですか。トランプに何も言えない！「戦争止めて」

「イランから手を引いて」と言つて下さい。原油高騰、車も乗れない、何とかして下さい。お願いします。国民は踏んだり蹴つたりの目にあっています。(棚屋祐司)

●地域の方々と学区内を毎週歩いて満4年が過ぎました。今週は、桜満開の「桜コース」を12人が歩きました。もう、学区内のほとんどの道がわかるくらい歩いています。「季節の変化を感じながら、参加者同士の交流をしながらの1時間はとても楽しい時間」と、好評です。健康のため、交流のためとても良いウォーキングです。(住寄善志)



大きな藤棚の一部
(林病院デイケア内)

●体調が回復したら旅行に参加したいと思っています。いまは少しずつリハビリしています。ただ戦争によって物価高が続けば気軽に旅行に行けなくなるのかなと不安を感じています。怖い人が権力を握ってしまうと、ブレーキが壊れた車のようになり暴走してしまうのですね。1日も早く平和になることを願うばかりです。誰もが安心して暮らせる社会が理想です。(福祉充実)

●世界が不安定化する現在、戦前の社会の状態を知るために図書館通い。過去を知り対策を考える。戦争をしないために。(山崎名譽次)

●林病院内デイケアのところに立派な藤に棚花木が展示されている。ある利用者に確認したところ、故郷に自分と同じ病気に苦しむ友が入院している、林友の会の心のひろばに載った記事で自分は病気に負けず頑張っているよと連絡のやり取りらしい。藤の見頃は4月末頃で病院内の患者様達にも見て欲しいと皆が見えるところに展示された。見て楽しんで希望を持つてください。(うつちりんさん)

●病院にかかる前の家族の言葉「気のせいよ」「この頃たるんでるんじゃないの」「でもそうではなく本当に心の病でした。同じ家族の中でうちあけられなく悶々としていたのですが、今は病院で心も開いて話ができ嬉しいです。だけど未だに病院にかかっていることは誰にも言わないでとお達しです。誰でも一つは痛いところがあるのが人間ですね、生かされている今日この頃です。(佐野道恵)

●私たち夫婦は今年で結婚50年目を迎えました。結婚の時の誓いの言葉は「お互いを認め合い共に成長することを誓います！」自分のやりたいことを大切にしながら、リスペクトしあえて今日があります。夫に感謝しています。(崎本敏子)

●メイクセラピーの記事、私も以前菅野さんのメイク講座を受けたことがあり、とても興味深く読ませていただきました。お化粧の仕方、まゆの書き方で表情が全然変わるのにびっくりしました。気持ちが前向きになるので不思議です。春です！お化粧して出かけましょう。(め〜こ)

●「春の交流会」に初めて参加しました。「心のひろば」の誌面での知る会員さんと交流ができ、楽しい時間を過ごすことができました。来年も参加したいと思っています。(井原誠司)

クロスワードを解き、二重枠に入った文字を並べてできる言葉をハガキかメールでお送りください。住所、氏名、紙面や友の会活動に対するご意見・ご感想をお書きください。お名前の掲載ができない方はペンネームか匿名希望とご記入ください。抽選で5名の方に図書カードを差し上げます。応募締切：5月15日

宛先：〒703-8520 岡山市中区浜472
林友の会「心のひろば」編集部
hamawww@po.harenet.ne.jp

第505号
の答

テ イ カ カ ク

パズル当選おめでとう

- ▼棚屋 祐司 ▼三宅 敏広
- ▼め〜こ ▼山崎名譽次
- ▼吉岡 沙稀 (敬称略)

タテのカギ

- ①学校が変わります
- ②英語でリスト
- ③俗に「お釜を掘る」という事故
- ④美女の相手
- ⑦ドクター
- ⑨ともに〇〇〇の生えるまで
- ⑫天然
- ⑭クリ、フランス語では?
- ⑮川に架かる
- ⑰魚との駆け引きを楽しむ趣味

ヨコのカギ

- ①ウマのひづめに装着
- ④真相はこの中?
- ⑤食いしん坊が張っている
- ⑥ラブラブの二人
- ⑧脂の類
- ⑩ミルクと肉を生産する家畜
- ⑪交差点に立ち、人の会話をもとにして占う
- ⑬張ったり、登ったり
- ⑮胸にある骨
- ⑰本店の下に属している
- ⑲商品を販売する人

クロスワードパズル

※二重枠に入った文字を並べてできる言葉は何でしょう?

1		2	3		4	
					F	
			5			
6	7					8
10				11	12	
		13	14			
15			16			17
18						

A B C D E F

林病院 けやき外来診療表 (2026.5.1~)

	月	火	水	木	金	土※1
午前	北山	吉井	吉井	原	吉井	村田 三 中 前 林 清 光 山 本
	吉井	岡本	大塩	林	清光	
	尾原	前田	前田	大塩	林	
		三村	藤本	アルコール依存症外来	アルコール依存症外来	
午後	藤本	休診	吉井	北山	吉井	休診
	原		尾原	中村	北山	
	廣中※2		廣中	国吉	林	

※1土曜日の医師体制は、隔週毎になります。 ※2月曜日の廣中医師は、第1・第3・第5週になります。
午前診療時間 9:00~12:30 (受付時間 8:30~12:00)
午後診療時間 14:00~17:00 (受付時間14:00~16:30)
初診の方は、あらかじめ電話でご予約ください。
TEL086-272-8570 (けやき外来直通) TEL086-272-8811 (林病院代表)
林財団ホームページ <http://www.hayashi-dorin.or.jp/>

●入院のご相談は
代表(086)272-8811
へお電話ください。
入院担当看護師へ
おつなぎします。
夜間・休日も
対応しております。

もの忘れ外来
(月)午前
9:00~12:30
重度認知症デイケア
(月)~(土)
9:30~15:30

デイケア
(月)~(土)
9:00~15:00
ナイトケア
(月)~(土)
16:00~20:00

認知症専門病院
岡山ひだまり
の里病院
外来診療表

月	本 田
火	本 田
水	藤 田
木	藤 田
金	岡 本

9:00~12:30
電話で予約して
ご来院下さい
☎(086)267-2011
認知症デイケア
(月)~(土)
9:30~15:30

電話相談

電話：086-272-2957 (林友の会)
平日8:30~17:00

生活相談・法律相談・家族相談

各相談は、林友の会事務局員が
事前にお話を伺い、
相談員へお取次ぎします。

相談員

氏平みほ子 (県 議)
森脇ひさき (県 議)
林 潤 (市 議)
石田 正也 (弁護士)
則武 透 (弁護士)
家族会 役員